

作成 令和2年6月30日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和2年第2回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和2年6月25日～
議事録（抜粋）

1 アフターコロナでの学校教育の充実について

○松本議員

1 アフターコロナでの学校教育の充実についてですが、約3カ月の休校を余儀なくされ、ようやく15日より通常登校が始まりました。この学校休業期間中における家庭学習等の対応についてどのように取組まれていたのかお聞かせ下さい。

(略※)

○北野教育次長

臨時休業期間中における児童生徒の家庭学習の対応についてのご質問にお答えいたします。

この間の家庭学習につきましては、国・府の方針を踏まえた市の方針に基づき、学校はそれぞれの状況に応じた対応を行ってまいりました。

具体的には、教職員が家庭訪問等で子供たちの様子を把握し、3月は復習を中心とした学習プリントを配布いたしました。また4、5月はプリント復習に加えインターネットを利用して行う自宅学習や新しい学習内容の動画等を作成し、家庭学習を支援してまいりました。

授業再開した6月1日以降は、これらの家庭学習を補完する授業や未学習の内容を進める授業から取り組み、児童生徒の学力の保証に努めております。

(略※)

○村上議長

松本議員。

○松本議員

これよりは一問一答形式でお願いします。まず学校教育の充実について、学校休業中様々に取組まれたことを理解しました。この3カ月間、先見えぬ中で子ども達のために、教育長がリーダーシップを発揮され教育委員会が一丸となって懸命に取り組まれたことを高く評価致します。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

さて長期休業を余儀なくされた現状において、小中学校での学業をどう取り戻していくのかその取り組みについてお聞かせください。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

臨時休業により約3カ月間の学習時間を取り戻さなければなりません。そのため夏季休業期間の大幅短縮、冬期休業期間の短縮、1週間あたりの学習時間増や学校行事の見直し等に取り組んでまいります。

なお、このような取り組みを行ったにもかかわらず未履修が発生した場合、最終学年を除き、未修分を次年度以降に送ることもやむを得ないとされておりますが、本市は、現時点では今年度内に学習を終えるよう計画致しております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

様々工夫して取り組むことは理解しました。ただ詰め込み過ぎて、子ども達がやる気を損なわないか、楽しい思い出が作れないのではないか、という保護者の懸念を聞きます。そこで児童・生徒のやる気スイッチ、モチベーションの維持について、学校行事も含めてどうお考えかお聞かせください。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

学習につきましては、夏休みの短縮等により、今後の授業日数を増やすことで学習内容が詰め込まれないようにするとともに、学力の定着を図るために家庭学習を充実して参ります。

また、学校行事等の学習活動は、子ども達に集団で取り組む楽しさや連帯感を感じさせ、ひいては学習意欲の向上にもつながると考えます。そのため、各校では、感染症対策を講じた上で、実施可能な行事は継続実施できるよう計画致しております。

○村上議長

松本議員。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

学習及び学校行事については理解しました。家庭の協力も得て、児童生徒の学習意欲をしっかりと高める努力と修学旅行も含めて思い出が無い年にならないよう要望致します。

また適切な教育環境の提供も重要です。まず受験生である中学3年生にはより充実した支援態勢が必要と思いますが、どうお考えかお聞かせください。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

中学3年生は、高校受験を控えておりますので、学習の支援が最も必要だと考えております。教育委員会としましては、民間塾に委託して行う授業料無料の「摂津 SUNSUN 塾」の対象学年を今年度から中学3年生まで拡大して実施致します。

またコロナ禍を鑑み、さらに中学3年生の学習意欲を高め、学力アップを図るため、希望者を対象とした民間塾による夏季及び冬季講習の実施を検討致しております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

受験生への対応は理解しました。そして小中1年生の学校習熟への対応もまた大切であります。特に、義務教育9年間を見据えた教育に取り組んでいる中で、小学1年生への学校への習熟、9年間を見据えた目標の設定などが非常に重要ですが、どうお考えかお聞かせください。

○村上議長

教育次長

○北野教育次長

小学1年生は、まずは学校生活を通してルール等の集団生活の基本を学ぶことが重要でございます。その上で、当然、身に付けるべき学力もしっかりと育まなければなりません。そこで、学力定着度調査を小学1年生も対象として実施することで、1年生段階から学習定着の意識を高めるよう取り組んでおります。

また、今年度より、小1から高3までの12年間、子ども達が学習状況等を振り返りながら、自身の目標を設定し、評価を行い、夢や職業の自己実現を図る「キャリア・パスポート」に取り組みます。これらを通して、小学1年生から意欲的に様々な活動

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

行えるよう取り組んでまいります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

キャリア・パスポートによる目標の見える化の有効性を活用し取り組んで頂くよう要望致します。

私はこれまでの教育委員会や現場との議論も踏まえ、小学1年生への取組みが本市の学力課題の大きな突破口になると考えます。1年生で学習意欲を高めて意欲的に学び過ごす9年間と、途中でスイッチが入るのとは9年後に大きな差がつくでしょう。よって1年生に力を入れることは9年間を見据えた効果的な投資といえます。なお過保護にせよという事ではないと添えておきます。

改めて教育長にアフターコロナでの学校教育充実について総括的にお考えをお聞きしたいと思います。

○村上議長

教育長

○箸尾谷教育長

この度の新型コロナウイルス感染症の社会全体に与える影響の大きさというのは、まあ、想像をはるかに越えるものであったと思います。

学校もですね、昨年度末より3カ月間、休業を余儀なくされました。何とか今月の15日から市内全校で通常授業を再開いたしておりますけれども、やはり当面の間は、いわゆる3密を避ける取組みでありますとか、あるいは健康観察や消毒などの実施とともに、学習活動においても一部制限を設けるなどして、子ども達の安全安心を確保することが大切であると考えております。

また一方で、学習の充実、学力保証も重要ありまして、さきほどらい次長より説明をさせて頂いておりますけれども国の補正予算等を活用しまして、ICT機器、家庭でも利用できるICT機器の整備でありますとか、あるいは学校に対しての支援人材を配置するなどの学習環境の整備と、合わせまして民間塾との連携やあるいはいわゆる英検の受験料を補助するなどして、子ども達の学習意欲を高める取組みも実施して参りたいというふうに考えております。

さきほども申し上げましたけれども、今回の新型コロナウイルスに関しましては、国・府からの要請もありまして、本市におきましても3月2日から全校で休業を実施してまいりました。しかしながらこうした休業措置は、子ども達にも大きな影響を与えたというふうに思っております。学習の遅れは勿論ですけれども生活習慣の乱れでありま

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

すとか、あるいは子ども同士のコミュニケーション不足、あるいは運動不足などといった悪影響を与えたのではないかというふうに思います。

今、国内のみならず世界全体を見ましても、子どもへの感染の報告は非常に少ないと聞いております。また一方で社会全体がコロナウイルスとの共存を図るという方向に舵を切られた今ですね、やはり国や府に対しては、これまでの施策やあるいは子ども達への感染状況をしっかりと分析・検証して頂いて、今後の学校の進め方について考え方を整理して頂きたいというふうに考えております。

教育委員会といたしましても、第2波、第3波の到来があるというお話もございます。きちんと学校の状況、子ども達の状況をしっかりと把握したうえで、適切に対応できるよう準備を進めてまいりたいというふうに考えております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

ありがとうございます。コロナ禍において直面する課題は、非常に大きなものであると私も認識しております。まさに教育委員会と学校とのこれまで以上の連携が必要であり、そこには教育長のリーダーシップが欠かせません。是非、子ども達の為に全力で取り組んで頂くよう要望致します。

その他、コロナ対策の徹底、休校に備えたICT環境整備、家庭学習の充実、日々の学習場所の提供、そして熱中症対策を踏まえ体育館へのエアコン設置も要望させていただきます。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 アフターコロナでの学校教育の充実について
- 2 アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化について
- 3 時代ニーズに応じた墓地行政について
- 4 持続可能な次期一般廃棄物処理基本計画に向けて
- 5 シティプロモーション戦略の具体化について
- 6 道路交通を含む中長期的なまちづくり整備について
- 7-1 新たな危機管理体制について
- 7-2 市の新型コロナウイルス感染症対策体制について
- 8 市のガバナンスについて

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]